



いわき

意和氣のかと心でチャレンジ!

由利本荘市立岩城中学校
2022. 7. 20(水) NO.14
文責：校長 倉田

多様性の輪を広げよう

15日(金)に全校道徳(人権講話)を行いました。この時間は、ゆり支援学校地域支援部の先生2名において頂き、「多様性の輪を広げよう～自分らしく生きる社会を目指して～」と題し、「多様性」のもつ意味や目に見えない障害をもつ当事者の思い、自分らしくあるためにはどうすればよいのかを考える機会となりました。講話の途中で、「もしも人間が同じだったら(同じ:同じ民族、同じ価値観、同じ文化、同じ能力etc...)どんなメリット、デメリットがあるか」をグループで考えました。以下は発表の一部です。

グループの発表より (一部抜粋)

メリット

- ・争いがない
- ・団結力がある
- ・話がすすむ
- ・差別がない
- ・分かり合える



デメリット

- ・新しい考えが生まれない
- ・面白くない
- ・つまらなくなる
- ・発展しない



講話の概要を私なりにまとめてみました。

- 個性のない集団はもろく、違っていることは強みである。
- 本来比べる必要がないものを比べたくなるのが人間の脳であり、つい違いを比べたくなる。それがマイノリティ(少数派)の生きづらさにつながっている。
- 目に見えない障害を抱える人の生きづらさは、誰かが気持ちに寄り添うことができれば、障害が0にはならなくても、居場所ができコントロールできる。
- 生徒への事前アンケートでは「障害者はかわいそう。」という意見が数多く寄せられた。障害はあるけど一人一人違う。人の幸不幸というのは他の人が決めるものではない。
- 「らしさ」をお互いに認めることができ初めて私たちは「らしく」生きられる。多様な人と触れあって知識や経験を深めることが大切。
- 多様性の輪を広げるためには、好きにならなくてもいい。でも排除しない。
- 人と違うことでも受け入れられる社会でありたい。これからの社会は、寛容な社会。皆に一役かってほしい。



講師の先生のお話を伺い、多様性の輪を広げ、人と違うことでも受け入れられる寛容な岩城中学校で常にありたいものと改めて思いました。

総合的な学習の時間で「持続可能な開発目標 (SDGs)」について深く学んでいく岩中生です。今回の講話も探究課題の設定に向けた一助になったのではないのでしょうか。

【連絡】 本日、タブレットPCの持ち帰り(お試し)を実施しております。先週配付したお便り「タブレット端末の持ち帰りについて」をご覧頂き、自宅のWi-Fi等への接続を進めて頂きますようお願いいたします。本日、自宅でする活動例を配付しましたので、お子さんに自宅での使用を促して頂ければ幸いです。タブレットPCは明日、登校時に持ってきてもらいます。